

# ライフカップ 第37回 大阪少年サッカー選手権大会 細則

- キックオフからの得点 キックオフから直接相手側のゴールに入った場合は、相手側にゴールキックが与えられる。
- PK方式 勝者を決定する必要がある場合、両チーム3名ずつの競技者がキックを行なったのち、両チームの得点が同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、交互に順序を変えることなく、キックは続けられる。  
GKを交代させる場合、競技者8人から行う。またFPのサブユニホームでのGKは可能だが、GKになる選手の背番号がメンバー表に記載していない背番号で行うことができるものとする。ただし、速やかに始められるものとする。(ベンチに用意していること)
- 審判について 事前に割り当てられた審判を不履行の場合、規律委員会の処分を受ける。  
新規及び昇級等で審判証が手元にない場合は、審判委員会の押印のある合格(証)通知顔写真つきの本人確認できるものを提示すること。  
主審・副審及び第4審は、試合開始前にお互いが打ち合わせ等の準備に努めること。  
第4審を割り当てられた審判員は、「8人制競技規則」にある補助審判の役割を参考にすること。また、本部役員・会場責任者も第4審に協力するものとする。
- ユニフォームについて 両チーム同色や区別がつきにくい場合、大会本部にて事前調整を行い、両チーム立会いのもとに決定する。また、大会本部はユニフォーム各2組のうちから、判別しやすい組合せを決定し、主審が確認を行う。  
GKがFPとして出場する場合、又は、逆の場合の背番号は固有番号で有れば、必ずしも一致しなくともよい。(正副の番号は一致しなくともよい)  
GK及びFPのビブス着用は認めない。
- テクニカルエリア エリア内には指導者と交代要員の座席部分が設置される。  
(これは、全人数分の座席の確保を確約するものではない)  
その都度ただ1人の指導者のみが戦術的指示を与えることができる。  
エリア内では責任ある態度で行動する限り、戦術的指示を行った後であっても、ベンチに戻る必要はない。
- 競技者の交代手続 (FPの場合)  
交代によって退く選手は、交代ゾーンからフィールド外に出る。  
フィールドにはいる選手は、交代ゾーンからフィールドに入る。  
インプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず交代できる。  
主審及び第4審の承認は必要ない。(但し、第4審の用具チェックは受ける。GK含む)  
(GKの場合)  
ボールがアウトオブプレーになった時、主審の許可を得て交代を行う。  
退くGKは、交代ゾーンからフィールドの外に出る。  
代わりに入るGKは、交代ゾーンからフィールドに入る。  
※負傷等により退く選手は、交代ゾーンからフィールド外に出る必要はない。
- 選手証不携帯について 選手証を不携帯の選手の出場は認めない。  
チームとして不携帯の場合は棄権とする。
- 移籍について 本大会期間中の移籍に関して、移籍もとのチームで本大会に出場した者に関しては、移籍先のチームにおいてその出場を認めない。
- 負傷者について 負傷者については各チームで処置等を施すこと。  
主催者、主管者は一切の責任を負わない。
- 規律委員会処分について会場責任者の指示に従わない場合  
駐車制限、喫煙、ゴミの不始末、施設破損等の問題があった場合  
レギュレーション違反があった場合  
予期せぬ問題が発生した場合  
上記の場合、規律委員会にて処分を決定する。処分を受けたチームは決定を遵守すること  
尚、当該チームの保護者の行為も含まれますのでご徹底ください。